

令和4年度

年間事業報告書

社会福祉法人俊遊会
富士保育園

1・総括

【特筆すべき重要事項】

○地域子育て支援拠点事業 ぽくぽくクラブ開設

4月15日より地域子育て支援拠点事業 ぽくぽくクラブを開設した。

※事業報告は別紙参照

○新型コロナウイルス感染症の感染防止と感染対応

令和4年度も富士保育園新型コロナウイルス感染防止マニュアルに基づき職員・児童・保護者の衛生管理（検温・手洗い・うがい、施設内特にドアノブや玩具の消毒を徹底）、集団での活動や「密閉・密集・密接」を避ける保育活動に留意しながら保育を継続した。また、富士保育園新型コロナウイルス感染防止対応レベル表を作成し、該当レベルごとに応じた保育活動を実施した。

オミクロン株が主流となったいわゆる第7波といわれる感染の拡大が起きた7月から9月と第8波の11月から1月にかけては当園児童並びに保護者と職員の感染が増加し74名の園児、17名の職員が感染した、感染拡大防止の為に7月15日は年中学年が学年閉鎖を行い、もも組は11月4日と11月7日から10日にかけて登園自粛要請を行い家庭保育を依頼した。

○富士保育園創立70周年記念事業

11月6日（日）富士保育園創立70周年記念事業を実施

記念式典および卒園児ホームカミングデーを開催

（運営）

安全管理事項において、新型コロナウイルス感染予防に重点を置きつつも児童の保育と教育の提供に努めた。また4月より地域子育て支援センターぽくぽくクラブを開設し地域の子育て支援に取り組んだ。

研修においては集合形式での研修会の実施がほぼ開催されなかった。リモートでの研修会へ参加することとなった。毎月の職員会議に「事故報告」に「ヒヤリハット報告」「感染症情報の迅速共有化」も加え、職員間の意識向上と情報、連携、連絡の緊密化を目指した。

（1）行事委員会

年間行事の課題と運営

- | | |
|--------------|---------------------------------------|
| (2) 研修委員会 | 園内研修の企画と運営 |
| (3) ものづくり委員会 | 園行事に必要なものの製作
創立70周年記念事業イベントの製作物など |
| (4) 危機管理委員会 | 食物アレルギー緊急時対応マニュアルの見直し
散歩時のマニュアルの整理 |
| (5) 給食委員会 | 嗜好調査アンケートづくり・食育活動の計画実施 |

(保育) 以下の保育理念・保育方針・保育目標に沿って日々の保育を行う。

☆保育理念「こども・おとな・社会すべてが共生できる保育園（縁）

☆保育方針《生命を大切にし、正しき行いを通じ、よき社会人の芽を育てる保育》

「見つめる心・自分もひと大切にできる心・しなやかな心を育む」

①見つめる心～好奇心・探求心～

②じぶんもひと大切にできる心～自己肯定感と思いやりにあふれる心～

③しなやかな心～失敗や挫折を糧にできる強い心

④食事・活動・休息のバランスが取れた保育

☆保育目標

①健康で何事にも積極的に努力し、がまんでできる子ども。

②自然に目を向け動植物を愛し、いたわる心を持つやさしい子ども。

③集団生活の中で責任ある行動がとれみんなで力を合わせることを大切にできる子ども。

④自分のことは自分でできる子ども。

⑤自然現象や社会自称に関心を持ち感動したり疑問を持ったりしていつも考え、正しく表現できる子ども。

《0歳・1歳児》衛生的で安全な環境の中でひとりひとりの生活リズムを大切にして生命の保持・情緒の安定を図り基本的な生活リズムを作りながら保育者や友だちとの関わりの中で信頼関係を育むよう配慮した。また戸外遊びを通じ体を動かしながら体力の向上に配慮した。保護者の家庭環境・就労環境などの多様性に留意し、子育て経験の浅い保護者への相談援助、アレルギー疾患や感染症などの対応と情報提供に努め、家庭と連絡を密に取りながらひとりひとりに合った支援を行うよう努めた。また複数担任であることから職員間の意思疎通、連携を円滑に行えるよう努めた。

《2歳児》基本的な生活習慣の習得に向けひとりひとりの発育状況に応じ家庭と連携しながら取り組んだ。自我の芽生えを積極的に引出し、自分の思いを表現できるよう配慮した保育を行った。戸外遊びを通じ思い切り体を動かすことを意識した。児童数も多くかつ保育者も複数となり、職員間、職員と保護者間の意思疎通には十分配慮した。

《3歳児》基本的な生活習慣の確立期になり、個から集団への保育環境の変化に十分配慮しながら、友だちとの関係の中で人との関わりを知り、深めていくよう配慮して保育を行った。戸外遊びを豊富に取り入れ日常生活の中で体を動かす活動を増やしていった。2クラス体制、一人を3歳児加配保育士として3名の担任に加え配慮を必要とする児童への加配を1名、計4名体制で保育を実施した。

《4歳児》日常生活での様々な習慣や態度を身に着け積極的な活動を行うとともに年長児への進級を意識した活動を行った。特に戸外活動に重点を置き日々の保育を行った。

《5歳児》集団生活の中で意欲的に活動し仲間との関わりを通して生きる力の基礎を養う保育の実践。意欲的な活動を通じて疑問や発見などによる物事への関心を高める。身の回りの事象に触れ物の性質や数量、文字などに対する感性を豊かにする保育の実践を行った。

- ・月一回の書道・お説法

- ・富士山開山式（年長児）実施

- ・サマー保育は本年度も宿泊を伴わない形に変更。恩賜林公園での自然体験活動を中心に実施。

- ・ふじっこなつまつり 保護者・地域の参加を行わず、園児のみで実施した。

- ・ふじっこうんどうかい 鐘山体育館で実施

- ・親子遠足 5月の実施は新型コロナウイルス感染防止の為11月に延期したが悪天候のため中止。

- ・ふじっこ発表会 3歳以上児のみ各学年・クラスごとに保護者の観覧を行う。未満児は保護者の観覧なし。CATV 富士五湖の協力でYouTubeでの動画配信を実施した。

- ・年長児そつえん遠足 三津浜シーパラダイスといちご狩りを実施。

《異年齢交流》新型コロナウイルス感染防止のため感染状況により学年をまたぐ活動を制限したため異年齢での直接的な交流機会は減少した。感染状況、感染対応レベル表に基づき可能な限り保育教諭の工夫意思疎通を図り、園外での散歩などリスクが軽減さ

れる環境下では積極的に交流した。

《土曜保育》実際には土曜保育希望及び土曜日終日保育の児童は少なく異年齢児の活動が主となることで異年齢交流の場となることを前提に家庭的な環境づくりを意識した。

《食育》乳幼児期における元気な心と体を作るための望ましい食習慣を身に着けることを目標に畑での野菜作り、収穫、調理、食教育媒体（紙芝居・パネルシアター・絵本・カルタペーパーサート等）を効果的に利用しながら遊びを通じ食物、栄養、マナーなど総合的に児童が触れ考える機会を意識して取り組んだ。また、新型コロナウイルスの感染防止のための食事の際のマナーを伝えた。

《保健》生活リズムを整え基本的な生活習慣の自立を意識した。新型コロナウイルスの感染防止のための以上におけるマスクの着用や手洗いうがいなど基本的な感染防止のための教育を行った。

《配慮を必要とする子どもへの対応》は保護者と専門機関との連携連絡をはかりながら取り組んだ。

（経理）

新社会福祉法人会計基準での会計処理を実施。

2・年間利用児童数

	認定区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
さくら (5歳)	標	7	7	7	7	7	7	7	7	8	7	8	8
	短	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7
	1号	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
ふじ (5歳)	標	6	6	6	4	4	4	6	6	6	7	7	7
	短	11	11	11	13	13	13	11	11	11	10	10	10
	1号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
きく (4歳)	標	7	7	7	7	8	8	9	9	10	9	9	9
	短	10	10	10	10	9	9	8	8	7	8	8	8
	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
ゆり (4歳)	標	8	9	8	8	9	9	9	10	9	7	7	7
	短	10	9	10	10	9	9	9	8	9	11	11	11
	1号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うめ	標	7	7	7	7	7	7	7	8	7	7	8	8

(3歳)	短	11	11	11	11	11	11	11	10	11	11	10	10
		4	4	4	4	64	4	4	4	4	4	4	4
つつじ (3歳)	標	6	6	6	6	6	7	8	8	8	8	8	7
	短	13	13	13	13	13	12	11	11	11	11	11	10
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
すみれ (2歳)	標	13	13	13	13	13	13	14	15	15	14	14	14
	短	11	11	11	11	11	11	10	9	9	10	10	10
もも (1歳)	標	17	17	17	17	18	18	17	17	16	15	15	14
	短	5	5	5	5	4	4	5	5	6	7	7	6
もも (0歳)	標	3	3	3	3	4	4	8	9	9	9	9	9
	短	0	0	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3
標準時間児童合計		73	75	74	74	76	77	85	89	87	83	85	83
短時間合計		80	78	80	81	80	80	76	73	75	79	77	75
1号児童合計		15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
合計		167	168	169	170	171	187	176	177	177	177	177	173

3・職員数（令和5年3月31日現在）

	園長	主幹保 育教諭	副主幹保 育教諭	保育 教諭	栄養士調理 師調理員	子育て 支援員	事務員	学校医	その他	合計
常勤職員	1	1	1	18	4	1	1			27
非常勤職員				4	1	1			1	7
保育補助				1						1
臨時				1						1
学校医								2		2
学校薬剤師								1		1
育児休業中				2						2
合計	1	1	1	26	5	2	1	3	1	41

採用

令和4年4月1日付け

保育教諭 2名

保育業務支援者 1名

子育て支援センター支援員1名

令和4年7月11日付け

保育教諭 1名

退職

令和5年3月31日付け

保育教諭 1名

4・勤務体制・時間等

1年単位変形労働時間制

5・職員研修実施内容（別紙）

6・年間行事報告（別紙）

7・災害訓練・健康管理・衛生管理・職員会議実施

8・苦情申出・他（別紙保護者アンケート参照）

9・附属明細書 本事業報告書の内容を補足する重要な事項がないため事業報告の附属明細書は作成していない。

以上の通り報告する

令和5年3月31日

社会福祉法人 俊遊会 理事長 浅沼鎮雄